

地域に役立てたい

「介護予防サポーター養成講座」修了

市と市社会福祉協議会の共催で開催した「介護予防サポーター養成講座」が1月26日に修了し、23名の受講生に修了書が手渡されました。

講座は昨年10月から始まり、講義7回・実習2回のカリキュラムで実施され、高齢者に関するさまざまな分野で活躍中の講師による講義を参加者は熱心に聴講しました。

参加者一人ひとりに修了書が手渡され「学んだことを少しでも地域にかえしていきたい」「現在活動中のふれあいサロンで学んだことを実践した。とても役にたった」などの感想を話していました。

市のめざす“高齢者が家族・仲間・地域と手を携えて、安心して暮らせるさんむ”の一端を担っていく頼もしいサポーターが誕生しました。



写真上：修了書を手にする受講生、写真下：講義風景

税ってなんだろう？

租税教室

1月26日、鳴浜小学校と大富小学校のそれぞれ6年生を対象に、租税教室が行われました。

市の税務に携わる職員が先生となり、身近な消費税の話から、税金の種類や総額、使い道などの説明を聞きました。

授業では、税金の総額の話題などで単位になる一億円ほどくらいの嵩になるのか、札束を持ってみたり、「もし世の中から税金がなくなったらどうなるか」というビデオを見るなど税金の意義や役割を学びました。



一億円の重さは…約9.4kg！

日頃の成果を披露

婦人会敬老慰安会

2月4日、成東文化会館のぎくプラザで、山武市婦人会主催による第4回山武市婦人会敬老慰安会が開催されました。市内の高齢者の方を対象に、日頃の労をねぎらい、1日を楽しく過ごしていただくために、婦人会員による歌や踊りが披露されました。前日には雪が降り寒さも厳しい1日でしたが、会場からは、演目が終わるたびに拍手と歓声が上がっていました。



新成東音頭を披露

伝統はわたしたちが守る

郷土芸能振興大会

1月31日、山武市郷土芸能振興大会が成東文化会館のぎくプラザホールで開催されました。

当日は、市内に古くから継承されてきた神楽やお囃子などが披露され、子どもたちの出演もありました。訪れた観客は郷土に伝わる多様な芸能を満喫しました。



新町囃子等保存会の皆さん